

スポーツの秋、収穫の秋、食欲の秋……。園では、運動会、遠足と楽しい行事が続きます。子どもたちの体力もぐんと伸びる時期。楽しい経験を通して、健康な体をはぐくんでいきましょう。9月のこども園での病気状況は、熱や鼻水が出て風邪と診断された子が数名いました。感染症の発生はありませんでした。

10月でも夏のように暑い日もあれば朝晩は、羽織るものが必要な気温なこともあり、体調管理が難しい季節です。十分な栄養と休息をとりましょう。



10月10日は目の愛護デー 目をたいせつに

眼の病気・異常・けがなどのために

「くっきりと見る」ことが妨げられると、視力の発達が遅れてしまいます。これを【弱視】と言います。子どもたちは、自分の視力が悪いことを自覚できません。視力の発達期間を過ぎてから治療を始めても弱視を治すのは難しいようです。弱視の治療で最も重要なことは、早期発見・早期治療です。



- テレビや絵本をととても近づいて見たり、目を細めたりする。
- 片方の目を隠すととても嫌がる。
- まぶしがる。
- 首を曲げる、頭を傾けて見る。
- 目がよっている。目つきがおかしい。
- 瞳（黒目の中央）が白っぽく見える。



※心当たりがある場合は、早めに眼科を受診しましょう。



コロナウイルス 目も入り口？

口や鼻を入り口に体の中へ入ってくる、新型コロナウイルス。目からも入る可能性があるそうです。感染している人のせきやくしゃみのしぶきに含まれるウイルスが目目の表面についたり、ウイルスのついた手で目を触ったりこすったりすると体の中に入ってくるかもしれないのです。そこで大切なのはやっぱりしっかりと手洗いを行うことです。

歯科・内科検診を9月1日に行いました。

新型コロナウイルス感染症対策として5月に行う予定でしたが、フェースシールド等感染対策のうえ実施していただきました。

歯科検診では、虫歯になりかけや虫歯のある子が数人いました。治療の必要のある人は、早めに歯医者さんへ行きましょう。お口の健康を守るために家庭では、寝る前の仕上げみがきは小学校中学年頃まではしてあげましょう。



10月15日は

「世界手洗いの日」子どもたちが自分でできる感染予防。せっけんを使った正しい手洗いを、行いインフルエンザ予防やコロナ感染症対策として自分の体を病気から守る大切さを考えてみませんか……。手洗い週間としてこども園でも手洗いチェッカーを使用して手洗いについての話しを計画しています。



10月の身体計測

10月20日（火）・・・0、1、2歳児

10月21日（水）・・・3、4、5歳児

